

なかがわ

広報

2013. 10



No.97

- 平成24年度決算報告 2
- 那珂川町長選挙【投票日：10月27日】 6
- 小砂地区が「日本で最も美しい村」連合に加盟 8
- 国道294号「小川南バイパス」が開通 9
- スポーツの秋！小・中学校運動会 12
- 中学生姉妹都市交流事業 14
- 平成26年度幼稚園・保育園の入園申し込み 22



薬利小学校・最後の運動会（全員で踊った「日光和楽踊り」）

広報 Kaho Gallery 展示室

第97回

秋季特別展

城と武将—天下をめぐる男たちの戦い—

小雨の降る暗闇の中、大きな蓮の葉の間に身をひそめ、緊張した面持ちであたりをうかがうのは真田幸村（信繁）。頭に鉢巻きを締め、腕に抱えた鉄砲で敵の大將、徳川家康を狙っています。

この図は、大坂の陣で茶臼山に陣取った家康を幸村が近くの蓮池に忍んで襲撃したものの、惜しくも討ち漏らしたという逸話を描いたものです。水面から顔を出す大きな緑の葉や薄いピンクの花に囲まれて、まるで幸村が小人になったような印象を受けます。

大坂の陣は、豊臣家率いる西軍と徳川家率いる東軍の戦いで、1614年の冬の陣と翌15年の夏の陣の2度にわたって行われました。真田家は家の存続のため、将来東軍・西軍のどちらが天下を取ってもいいようにと、幸村とその父・昌幸は西軍、兄・信之は東軍につき、敵味方に分かれて戦いました。

この戦いで幸村は家康を幾度となく窮地に追い詰め、その勇猛さと智将ぶりで注目を集めました。冬の陣では大阪城を守るために真田丸という出丸を築き、徳川軍をさんざんに打ちのめして退却させています。夏の陣では、家康の本陣に三度も突撃し、とうとう本陣まで斬り込んで家康の馬印を引き倒しました。その迫力に圧倒され、家康は馬で逃げまどいながら、真田に自分の首を取らせるわけにはいかぬと、幾度となく「切腹」を口にしたといいます。

その後、家康の猛烈な巻き返しに抵抗し続けた幸村ですが、最後は深手を負い、田の畦に伏せているところを追っ手に槍で突かれ、49年の生涯を終えました。

大坂の陣の後の首実検では、幸村の首を前に、家康

は「敵ながら天晴れ」とその戦いぶりを讃え、家康が「幸村の武勇にあやかれ」と声をかけると、居並ぶ武将達がこぞって遺髪を取り合ったと伝えられています。「真田は日本一の兵」と高い賛辞が贈られ、人々はしばらく幸村のことばかり話していたそうです。

本展では真田幸村をはじめ、戦国の世に活躍した名だたる武将の数々が登場します。それぞれの武将の生き様や彼らの生きた時代に思いを馳せながら、広重美術館で秋のひとつときをお過ごしください。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井裕子



歌川芳年「一魁随筆 真田左エ門尉幸村」 太田記念美術館蔵

【会 期】

前期 10月20日(日)まで

後期 10月25日(金)～11月24日(日)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

後期 10月26日(土) 午後1時30分～当館学芸員

【開館時間】

午前9時30分より午後5時まで(但し入館は4時30分まで)

【入館料】 大人 700円(630円)

高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

平成24年度 那珂川町観光写真コンテスト 受賞作品



夕焼賞 「なかがわの夕景」
釜井三木さん(宇都宮市)
撮影場所…グリーンヒル

那珂川町の里山を表現するための構図を考え、太陽が沈むタイミングや逆光をどう生かすかなど考えて撮影をしました。また天候によっては、太陽に突然雲がかかり夕景を撮影できないことも数回ありました。(釜井さん)



入選 「ささら舞」
川村昇司さん(水戸市)
撮影場所…富山

諏訪神社のささら舞は、歴史と伝統があり、写真愛好家の被写体としては魅力があり、那珂川を表現する上でも最も重要なものだと思います。躍動感を表現するため、広角レンズを使い、シャッター速度を遅くしてみました。(川村さん)